

報道関係各位

2009年2月9日
森ビル株式会社

MEDIA SHIP 表参道ヒルズ 3周年 文化・アート、環境、地域貢献を柱に進化し続ける文化商業施設

表参道ヒルズは、2009年2月11日(水)に開業3周年を迎えます。

ファッション感度の高いオトナの男女が顧客として定着。会員売上比率は40%超

2006年のオープン以来、表参道ヒルズは、近隣に居住または勤務されているファッション感度の高い都会的な生活を志向する30～40代の男女を中心に、日本全国、そして海外から、たくさんのお客様にご来館頂きました。また、2008年6月の東京メトロ副都心線開通により、板橋区や豊島区など沿線からのお客様や、家族連れのお客様の来館が増加傾向にあります。六本木ヒルズとの共通ポイントカード、「コミュニティパスポート」の表参道ヒルズでの入会会員数は約9万人(2009年1月現在)、売上における会員売上の比率は40%を超え、顧客の定着化が進んでいます。今年3月には、顧客となるオトナの男女に向けた、新店舗13店、リニューアル店舗4店がオープンし、新規顧客獲得と囲い込み強化を図ります。

最先端の文化・情報発信施設として、文化・アートや環境に関するイベントを多数開催

人と人、人と街、街と世界をつなぐ「MEDIA SHIP(メディアシップ)」をコンセプトに、まったく新しい表現力を持つ“文化商業施設”として誕生した表参道ヒルズ。イベントスペース“スペース オー”や吹抜け大階段をはじめ、バナーやコルトン、ビルボードなど館内外のデバイスを利用して、最先端の文化・情報の発信に努めて参りました。2008年は、「荒木経惟写真展」や「ブラジル映画祭 2008」など国内外の高感度な文化・アートイベントの開催を拡充したほか、「SHORT SHORTS FILM FESTIVAL & ASIA 2008 ストップ!温暖化部門 エキシビション」などのエコイベントを多数開催し、環境問題に関する情報発信を強化して参りました。また、ピンクリボンなどの社会的メッセージ発信や、企業とコラボレーションしたプロモーション展開、吹抜け大階段でのライブなど、施設全体を利用したダイナミックな情報発信にも協力して参りました。

2009年度も、情報性の高い文化・アート・エコイベントの開催を通じ、表参道ヒルズ全体が“メディア”となり、時代のニーズに応じて、多彩な情報を日本、そして世界へ発信し続けます。

表参道の街の活性化に貢献

表参道の街で行われるイベント協力や地域活動を通じて、エリアの活性化や地域とのコミュニケーションを強化して参りました。表参道ヒルズの開業により、表参道通りの通行量は、開業前の約1.5倍に増加、周辺の店舗への来客も増加し、街の活性化に貢献しています。また、表参道のランドマークとなり、街全体の魅力を発信する“メディア”としても機能しています。

表参道エリアの新たなランドマークとなってから3年。4年目となる2009年は、日本のファッションや文化の中心としてトレンドを発信し続けているストリート・表参道を代表する核施設としてのイメージを定着させると共に、地域や環境への貢献をさらに強化し、高感度なファッション、文化、アートを発信する文化商業施設として進化し続けて参ります。

本件に関する報道関係の方のお問合せ先

表参道ヒルズPR事務局:高橋・高田

TEL 03-5775-1560 FAX 03-3403-0508

森ビル株式会社 表参道ヒルズ運営室 プロモーショングループ:北川

TEL 03-3497-0292 FAX 03-3497-0318

表参道ヒルズの『進化』

◆リニューアルで進化し続ける表参道ヒルズ

時代のニーズ・流れに応じて、最先端のファッション・カルチャーを発信するため進化し続ける表参道ヒルズ。2008年2月に2周年を機にオープンしたモードカジュアルを提案する6店舗は、お客様の支持を得て、売上も順調に推移しています。一年間の期間限定出店であったアイファニーは、好評につき、今年本出店となります。

今年3月のリニューアルでは、新店舗13店、リニューアル店舗4店がオープンします。これまでと同様に、海外ブランドの日本1号店や旗艦店、日本発のこだわりのブランドショップなどを導入し、ファッション感度の高い都会的な生活を志向する30～40代のオトナの男女に向けて、メンズ・レディスファッションのさらなる充実を図ります。リニューアルにより、既存店と合わせた全館で、表参道ヒルズならではの、上質で個性的、そしてオンオフの境目のないファッションスタイル「Omotesando Hills Mode(オモテサンドウヒルズモード)」を提案していきます。

<新店舗一覧(13店)>

店舗名	業態	フロア	オープン日
北欧デザインハウス	インテリア・雑貨 【新業態】【期間限定】	本館 B2F	1月31日(土)
エイ・ケイ・エム	メンズファッション 【初出店】【旗艦店】	本館 2F	3月6日(金)
ビクトリノックス ストア表参道	メンズ・レディスファッション 【旗艦店】	本館 2F	
ガリアーノ	レディスファッション 【日本1号店】【旗艦店】	本館 1F	
ミリー	レディスファッション 【日本1号店】【旗艦店】	本館 1F	
フランクウィーンセンス	レディスファッション 【商業施設初本出店】	本館 B1F	
トランジット パーサッチ	レディスファッション 【直営1号店】【旗艦店】	本館 B1F	
ジュール アッシュ クレエ	レディスファッション 【旗艦店】	本館 B1F	
パラスパレス	レディスファッション 【旗艦店】	本館 B1F	
アパートメント デパートメント	レディスファッション 【商業施設初出店】	本館 B2F	
ジェイ ピリオド	インテリア雑貨	本館 B2F	
マーク&ロナ プラス	ゴルフウェア 【日本1号店】【旗艦店】	本館 B3F	
アッシュ・ペー・フランス ヴィンテージ(仮称)	ジュエリー&アクセサリ 【期間限定】	本館 B1F	

<リニューアル店舗一覧(4店)>

店舗名	業態	フロア	オープン日
イリアン ローヴ	レディスファッション 【改装】	本館 B1F	1月31日(土)
フェスタリア ビジュソフィア	ジュエリー 【増床】	本館 B1F	3月6日(金)
イノーヴェ	ジュエリー&アクセサリ 【フレームより店名変更】	本館 B1F	
アグ オーストラリア	シューズ&ファッション雑貨 【MD変更】【改装】	本館 B2F	3月中旬予定

◆進む顧客の定着化 ～会員売上比率は40%超～

六本木ヒルズと表参道ヒルズの共通ポイントカード、「コミュニティパスポート」の入会会員数は、2009年1月現在、47万人を超えました。その内、約9万人が表参道ヒルズでの入会会員です。総売上に対する会員の売上比率は40%を超え、30代前半の女性を核に20代後半～40代の近隣に居住または勤務されているオトナの男女を中心とした“顧客の定着化”が進んでいます。また、昨年6月からは、「コミュニティパスポート」会員向けサービスとして、年間のお買上金額に応じた特典を用意した“プレミアムステージ”を開始し、周年の顧客向けパーティーへのご招待や、年間で特に高額をお買い上げ頂いたお客様限定のクリスマスパーティーの開催などを行っています。各店舗でも、顧客向けの商品やサービス、パーティーなどを展開し、囲い込み強化を図っております。



1. 2周年スペシャル・パーティーでの東儀秀樹氏のライブ
2. 2周年スペシャル・パーティーの様子
3. 顧客向けクリスマスパーティー

コミュニティパスポートとは

六本木ヒルズと表参道ヒルズの共通ポイントカード。六本木ヒルズ・表参道ヒルズでのお買物・ご飲食などご利用額100円(税抜き)ごとに1ポイントをプレゼントします。500ポイント以上貯まると、ポイントに応じて、人気アイテムやお買物券、映画鑑賞券などと交換できます。

また、1年度(毎年4月1日から翌年の3月31日までの1年間)のお買上金額合計に応じた3つのステージを設定。各ステージに達したお客様には、ボーナスポイントをはじめ、特別なサービスをご用意しています。

HP: <http://www.compas.jp>

表参道ヒルズの『文化・アート』

◆最先端の文化・アート発信

2008 年は、国内外の文化・アートを発信する多彩なイベントを開催して参りました。世界的写真家・荒木経惟氏の 2008 年初の個展となった「YAMI NO HANA」(4/11～4/20)は、荒木氏が初めて撮影した宝石と花の写真展ということで注目を集め、期間中約 6,000 人の方が来場されました。日本未公開の長編作品などを紹介した「ブラジル映画祭 2008」(10/10～10/13)では、日本人ブラジル移住 100 周年も契機となり、連日満席の大盛況となりました。

2009 年も、高感度な文化・アートイベントの開催を予定しています。

3 月 6 日(金)からは、3 周年特別企画として、世界中のファッション & カルチャーマガジンを集めた「WE ♥ MAGAZINE LIBRARY」を実施。その他、4 月にタレント・アーティストデザインによるルートートのチャリティーイベント「トート・アズ・キャンパス チャリティー」や、今秋に森英恵氏が推薦するアーティストによる展覧会「手で創る-Part II」などの開催を予定しております。



荒木経惟写真展の様子

◆定番化する文化・アートイベント

様々な文化・アートイベントを開催してきた中で、好評により定番となりつつあるイベントも増えてきました。京都祇園の舞妓が表参道ヒルズの吹抜け大階段で舞う「表参道ヒルズへおこしやす」は、2008 年、パリの歌姫クレモンティーヌを迎えて、2 回目を開催。椅子式茶席の立札なども楽しめる当イベントや、昨年初めて表参道ヒルズで開催された「SHORT SHORTS FILM FESTIVAL」などは、今年も開催を予定しています。

◆周年ヴィジュアルを創り上げるクリエイター

周年を記念するメインヴィジュアルには、毎年様々なクリエイターとコラボレーションをしてきました。記念すべき 3 周年のメインヴィジュアルは、ロゴデザインを手掛けたタイクーングラフィックスがアートディレクションとデザインを担当し、イラストレーター近藤達弥氏とコラボレーションした作品がお目見えます。



3 周年メインヴィジュアル(イメージ)

3 周年メインヴィジュアル

3 周年を迎えた表参道ヒルズに、人々(カラフルな動物たち)が集う様子を、上品でありながらポップなイラストで表現。その中に、表参道ヒルズを象徴するロゴマークを、カラーージュしています。ロゴマークは、ショップリニューアルを行った表参道ヒルズの新たな旅立ちを、イラストは、表参道ヒルズに人々が集い、最先端のファッションや文化を発信する様子を表現しています。表参道の街に強い存在感を持ちながら、街の景観や環境との調和を続ける様子も表現しています。

<代表的な文化・アートイベント>

期間	イベント名
2007/6/2～6/4	表参道ヒルズへおこしやす
2007/8/13～8/20	Life 天国で君に逢えたら×飯島直樹 THE LOVE STORY
2007/12/15～2008/1/6	蜷川実花写真展「NINAGAWA WOMAN」
2008/4/11～4/20	荒木経惟写真展「YAMI NO HANA(ARAKI' s jewelry and flower)」
2008/4/26～5/6	躍動する生命の芸術～シルク・ドゥ・ソレイユの世界～
2008/8/1～8/3	表参道ヒルズへおこしやす Vol.2 ～花ざかり KYOTO×PARIS～
2008/8/12～8/17	Latin Entertainment Week 2008
2008/10/10～10/13	ブラジル映画祭 2008
2008/10/24～10/26	ニコライ・バーグマン 10 周年アニバーサリーエキシビション
2008/10/30～11/3	From Scotland With Love

表参道ヒルズの『環境』

◆2008年のエコ活動

環境に配慮した施設である表参道ヒルズでは、2008年、身近に環境を考えることのできるエコイベントを多数開催しました。「SHORT SHORTS FILM FESTIVAL & ASIA 2008」に新設された「ストップ！温暖化部門」のエキシビションには、2日間で約750人のお客様が来場されました。また、6月の「ECO FES@OMOTESANDO HILLS」や12月の「Eco Market for Christmas」などには、おしゃれなエコアイテムを販売するブランドが多数出店し、多くのお客様がお買い物を楽しみました。売上の一部は環境活動を行なう団体に寄付し、今年1年間で約80万円を寄付いたしました。

さらに、エコマーケットに出店したブランドがテナントとしても入店。フェアトレード商品を販売する「LOVE & SENSE」(4/14～7/13)や、エコロジカルな発想から生まれた新しい感覚のジュエリーやアクセサリーのブランド「ECODECO」(10/1～2009/1/12)などが期間限定で出店し、おしゃれにエコに貢献できる店舗としてメディアにも多数取上げられ、お客様にも好評でした。

◆コミュニティサポートポイントを緑の東京募金へ

今年2月1日からは新たな取り組みとして、お買い物に応じて貯まるコミュニティサポートのポイントを、緑の東京募金(海の森の整備)※に寄付できる制度を開始しました。環境に配慮した文化商業施設として、環境についての情報発信を強化するとともに、環境に貢献しながらお買い物を楽しむショッピングスタイルを提案して参ります。

<代表的なエコイベント>

期間	イベント名
2007/8/27	MireyHIROKI LOVE&PEACE PROJECT 「100 UMBRELLAS」
2008/5/3～5/6	ELLE ECO MARCHE & CAFE
2008/6/3～6/20	「アース」DVD 発売記念イベント
2008/6/7・8	SHORT SHORTS FILM FESTIVAL & ASIA 2008 ストップ!温暖化部門 エキシビション
2008/6/14・15	ECO FES@OMOTESANDO HILLS
2008/6/14～6/22	TAKE ACTION! 2008「+1 TANZAKU」
2008/11/8	読売エコアクションフォーラム
2008/12/12～12/25	Eco Market for Christmas



ELLE ECO MARCHE



ECO FES@OMOTESANDO HILLS

※緑の東京募金(海の森の整備)とは
都民や企業からの幅広い賛同を得て、緑あふれる東京を再生するために創設された募金。「海の森」は、東京湾に浮かぶゴミと残土でつくられた埋立地を、市民参加による植樹活動を通して緑あふれる森に生まれ変わらせる東京都のプロジェクト。募金は、「海の森」に植樹する苗木の購入に役立てられる。

環境に配慮した文化商業施設

表参道ヒルズは、設計に建築家・安藤忠雄氏を起用し、歴史ある表参道の景観と環境との調和を第一に考えて建てられました。地下空間を有効活用することにより、建物の高さをケヤキ並木と同程度に抑えるとともに、屋上緑化を実施。さらに、2007年4月には北側の壁面緑化を行い、ナツツタやジャスミン等7種類の植栽を植え、四季折々に彩を添える、表参道のケヤキ並木と融合した緑豊かな空間をつくりだしています。屋上・壁面緑化により、敷地緑被率は、東京都が義務づけている20%を上回る30%に達しています。

エネルギー面では、蓄熱式空調システムを建物延床面積の約90%(30,422㎡)で導入し、CO₂排出量の削減に貢献しています。また、「疎水」の仕組みを作り上げ、年間で7,911tの雨水をトイレ用洗浄水や灌水用に再利用しています。



表参道ヒルズの『MEDIA SHIP』

◆MEDIA SHIP を利用する企業

「MEDIA SHIP(メディアシップ)」をコンセプトに、情報発信の空間としてまったく新しい可能性を生み出した表参道ヒルズ。バナーやコルトン、ビルボードなど館内外のデバイスをも有机的に結合し、情報を形成して、様々な企業の情報発信を行って参りました。

2008 年は、株式会社資生堂による「OMOTESANDO HILLS meets REVITAL GRANAS」、KDDI 株式会社の「au Smart Sports」、日本ロレックス株式会社「ロレックスレディスギャラリー」、トヨタ自動車株式会社「アルファード×プレミアムセッション」など、様々な企業が表参道ヒルズ全体を利用したプロモーションを展開。コルトンやビルボードでの広告展開から、吹抜け大階段がブランドカラーに染まるなど、表参道ヒルズ全体が“メディア”となり、ダイナミックな情報発信を実現しました。

<代表的な MEDIA SHIP プロモーション>

期間	企業・プロモーション名
2007/3/22	KDDI 株式会社「OMOTESANDO HILLS COLLECTION supported by KDDI」
2007/9/18	株式会社資生堂「TSUBAKI HILLS」
2008/3/17～3/23	KDDI 株式会社「au Smart Sports」
2008/3/24～3/30	株式会社ニチレイフーズ「NICHIREI ACEROLA presents Aoyama Brazilian Week」
2008/5/21～5/27	トヨタ自動車株式会社「アルファード×プレミアムセッション」
2008/9/11～9/16	株式会社資生堂「OMOTESANDO HILLS meets REVITAL GRANAS」
2008/10/5～10/13	日本ロレックス株式会社「ロレックスレディスギャラリー」



株式会社資生堂「TSUBAKI HILLS」



KDDI 株式会社「au Smart Sports」



株式会社ニチレイフーズ
「NICHIREI ACEROLA presents
Aoyama Brazilian Week」

◆アーティストによるスパイラルライブ

アーティストによるスパイラルライブも継続的に開催しています。2008 年は、藤井フミヤさんや堺正章さん、中島美嘉さんなど大物アーティストが吹抜け大階段でライブを開催。多くのお客様がスパイラルスロープに集まり、吹抜け大階段に響き渡るアーティストの歌声を楽しめました。また、劇場並みの音響機材を持つ表参道ヒルズでのライブは、アーティストの方々の支持も得ています。



藤井フミヤ ライブ



堺正章 ライブ

表参道ヒルズの『地域活動』

◆表参道エリアの活性化

表参道ヒルズの開業により、表参道の通りの通行量は約 1.5 倍に増加しました。また、周辺の店舗への来客も増加し、表参道エリア全体の活性化につながっています。

◆地域コミュニケーションの強化

表参道のランドマークとなった表参道ヒルズは、地域との連携を図り、街との取り組みを積極的に行って参りました。

表参道の通りで開催される、「キャンドルナイト@OMOTESANDO - Eco Avenue」や「eco avenue MOVEMENT」などのイベントへの参加や、毎年 3 月に表参道で開催される「セント・パトリックス・デイ・パレード」に合わせた「アイルランド・フェスティバル」をスペース オーにて開催するなど、街のイベントを後援し、表参道の街全体からの情報発信に協力して参りました。また、隣接する神宮前小学校が開催する「神小 KIDS 表参道 MUSEUM」の後援や、「NPO 法人グリーンバード」への協賛とともに、運営室や各店舗スタッフによる清掃活動への参加など、地域とのコミュニケーションも強化しています。

さらに、“シブヤの街をキャンパスに”のコンセプトのもと、講義を開催している「シブヤ大学」では、2007 年から表参道ヒルズを教室に周年の記念講義を開催。地域の方が集い、文化やアートについて学べる場所として、スペースを提供しています。今年も講義の開催を予定しており、イベントの定番化を目指します。

<代表的な地域活動・地域イベント>

期間	イベント名
2007/1/20	神小 KIDS 表参道 MUSEUM2007
2007/6/22	キャンドルナイト@OMOTESANDO - Eco Avenue
2007/9/15・16	シブヤ大学 & Earth Day Market in 表参道ヒルズ
2008/3/16	アイルランド・フェスティバル 2008
2008/6/21	キャンドルナイト@OMOTESANDO - Eco Avenue
2008/9/20	シブヤ大学フェスティバル 2008
2008/12/1～2009/1/12	eco avenue MOVEMENT



キャンドルナイト@OMOTESANDO - Eco Avenue



グリーンバードの活動風景